

宮城県日中友好協会

TEL・FAX 022-274-3811

E-メール jcfa-miyagi@rose.plala.or.jp

ホームページ <https://miyagi-jcfa.com/>



8月、(葉月 はづき)。今月は東北6県でいろいろな催しが開催されることになり、観光客が全国各地から訪れると思う。7月25日には仙台―大連便が再開されることになったので、中国からの観光客増加も見込まれ、嬉しい事だが、ただ、コロナの第9波だけはご免こうむりたいものだ。

1. 8月の行事予定

日 時	行 事 名	場 所
8月7日 (月)	女性委員会「七夕ゆかた着付け体験会」10:30~15:00	宮城エレクトロンホール [宮城県民会館 会議等4F]
8月26日 (土)	宮城県日中友好協会定期総会 13:30~	宮城県民会館 401中会議室

2. 女性委員会の第37回定期総会 (委員長 水戸)



6月8日、国際センターにおいて県日中・女性委員会の第37回定期総会を14名参加で実施いたしました。第1部では佐々木謙・県協会会長による「国際交流について」の第2弾として、人と人との交流を続けていく事の大切さについて話があり、大変貴重な学びの場となりました。記念撮影をはさみ、第2部の総会は、新役員の発表とともにすべての議案が承認され、新たな出発をいたしました。

3. 日中平和友好条約締結45周年・2023年度定期総会開く！ (石巻地区日中友好協会 木村)



石巻地区日中友好協会は6月24日(土)石巻市「大もりや」で『日中平和友好条約締結45周年記念・2023年度定期総会』を来賓や会員24名参加で行い、原案通り承認された。

冒頭あいさつに立った白井会長は「厳しい日中関係ではあるが、民間レベルでの友好・交流を図って行こう。」と述べた。来賓として石巻市岡復興政策部長、石巻市国際交流協会三浦会長代行、石巻専修大学水野国際交流センター長、宮城県日中友好協会佐々木会長からそれぞれ祝辞を頂いた。中国新瀉総領事館からのメッセージを披露した後、総会に入った。総会議長には木村裕一さんを選出し、事業報告と事業計画については木村理事長が報告提案し、会計報告と予算(案)を秋月理事が行い、会計監査報告を高瀬監事が行い質疑に入った。質疑では意見なしで原案通り承認された。記念講演では白井会長から「中国駐在11年～中国ぶらり旅」と題し、講演を受けた。報告では中国駐在11年の間にほぼ中国全土を見て歩いたことが知れた。また、各地の様々な行事に合わせて行ったことなど報告されていました。参加した方も中国に行ってみたくらいと思っただけではないかと思われました。

交流会では参加者の皆さんからそれぞれ自己紹介をして頂きました。この中で新会員となった須田さんからハーモニカ演奏が行われました。



4. 第28回（2023年度）富谷市日中友好協会定期総会開催（富谷市日中友好協会 横山）



富谷市日中友好協会の定期総会が6月25日（日）14時から町上会館で行われました。来賓として若生富谷市長、青柳市議会議長も出席し、励ましのご挨拶をいただきました。

冒頭、中山耕一会長は「日中平和友好条約締結45周年を迎え、経済、文化でも更なるつながりの深化を民間交流で深めていきたい」と挨拶。

また「杭州東洋刃物とフェローテック中国の事業展開を通しての友好の深化について」と題して東洋刃物株式会社の大石純一郎社長が講演。中国各地で情報産業用の刃物等、事業展開している状況や多くの優秀な中国人が活躍している様子や杭州の観光など楽しい内容となりました。記念撮影の後、議案審議を行い承認されました。また留学生4人を中心にお茶会も楽しい会話が弾みました。



5. 漢方から考える健康講座（青年委員会 吉澤）



7月2日、国際センター研修室で「漢方から考える健康講座」を開催しました。講師は県協会会員で中医、薬剤師の資格を持つ曾萍さん。今回は会員と一般合わせて17名の参加がありました。

参加者は「気」「血」「水」のバランスをチェックする質問シートに答え自分の状態を確認。「気虚」は「気」が不足した状態、「気滞」はストレスをため込んでいる状態。「血虚」は栄養がすみずみまで届いていない状態、「瘀血」は血液が汚れ滞っている状態、「陰虚」は体の潤いが不足している状態、「痰湿」は余分な水が溜まっている状態で、それらが複合的に身体症状に現れることがあると説明がありました。

こむら返りは西洋医学では脱水により起こりやすいと言われますが、漢方の考えでは血液の流れが不足して血流不足で起こると考えるため「芍薬甘草湯」という血液を補う漢方が処方されるそうです。夏の脱水を防ぐために水分を多くとるように言われますが、心臓の弱い人が水分を多く摂取すると心不全を起こしてしまうことがあるので注意が必要だそうです。

漢方の考え方では体質によって合う薬が人それぞれ違うので、ご自身の体調に不安のある方は仙台駅東口にある「東口駅前調剤薬局」に足を運んで一度曾萍先生に相談してみてもいいかもしれません。

曾萍さんは講座の講師料をいつも県協会へ寄付していただきます。

今回も17名の参加費8500円を県協会へ寄付していただきましたことをご報告させていただきます。